詫間中学校通信 ～浦島の里から「がんばろう！日本」発信～
浦島伝説
平成23年９月２日
第 19 号

「充実の秋」開幕

夏の風物詩と言えば、高校野球。今年も、１５日間の熱い戦いが繰り広げられました。開会式での選手宣誓も心に響きました。「春から夏にかけ、どれだけ時が経っても忘れる事がない様々な事が起きました。それでも失うばかりではありません。日本中のみんなが仲間です。支え合い・助け合い・頑張ろう。私達は精一杯の笑顔で、全国の高校球児の思いを白球に込め、この甲子園から、消える事のない深い絆と勇気を、日本中の仲間に届けられる様、全力でプレーする事を誓います」（金沢高校野球部主将：石田翔太君）。

そして、季節は秋。夏に、支え合い・助け合い・頑張ってきた彼らのように、今度はみなさんが精一杯の笑顔で全力プレーを心がけてください。詫間中（詫間町）がみなさんにとっての“甲子園”になるのです。

いよいよ　2学期がスタートしました。１学期の終業式の日に、「交通事故に注意し、安全でケガのない夏休みにしましょう」と呼びかけましたが、残念ながら車との接触事故がありました。しかし、幸運にもかすり傷程度で、大事には至らず、全員、元気に２学期が迎えられました。２学期は、「スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、芸術の秋」など、勉強やスポーツをするのにふさわしい季節です。

「スポーツの秋」については、夏の総体が終わり、１０月になると新人戦が始まります。私は、４月に先生方に「勝てる活動指導をしてください」とお願いしました。専門的な指導が十分できないところには、積極的にコーチなどに指導をお願いしました。みなさんが、素直に、礼儀正しく、先生方やコーチの指導を聞き、練習に励んだところは、そろそろその成果が表れる頃ではないかと思って、楽しみにしています。

また、「読書の秋」に代表されるように、勉強がしやすい気候になります。日没もだんだん早くなり、涼しくなって、落ち着いて家庭学習ができる時間が多くなると思います。じっくりと、心を落ち着けて勉強に励んでほしいと思います。特に、３年生は、２学期のうちにしっかり実力をつけて、卒業後、希望する進路先へ進んでいけるように頑張りましょう。

「芸術の秋」については、学級のチームワークが成果として表れる合唱コンクールが１０月に実施されます。友だちと協力して思い出に残る合唱コンクールにしてほしいと思います。

昨年までのように、２学期に「体育祭」はありません。これまで体育祭に使っていたエネルギーを、今度は、部活動に、勉強に、合唱に注いでほしいと思います。２学期は７６日間です。充実した７６日間になるよう頑張りましょう。

※２学期始業式式辞から

マ・モ・ル

夏の終わりに、大きな事件が２つありました。

一つは、夏の高校野球で準優勝した光星学院の野球部員の飲酒事件です。飲酒した一人が、昨年末に地元に帰省した時にブログに書き込んだことから明らかになったものです。もう一つは、島田紳助氏の突然の芸能界引退です。暴力団関係者との親密な関係が明らかになり、自ら一番重い「引退」という処罰を下しました。

この２つに共通していることは、「全国準優勝」「芸能界のスター」という華々しい活躍の中で起こった出来事であり、まさに“天国から地獄”という感じです。そして、何より、両者とも「このくらいならいいだろう」という考えの甘さが招いた事件と言えるでしょう。島田氏の「自分の認識の甘さを思い知りました。悪いことをしている意識はなかった。僕の中ではセーフでした」というコメントがそれを物語っています。

芸能界にルールがあるように、社会や学校など所属する集団にもルールがあります。また、人として生きていくためには、マナーやモラルもあります。**マ**ナー（行儀）、**モ**ラル（道徳）、**ル**ール（規則）をきちんとマモル（守る）ことができる人が、周りから信頼される人です。

「好きか嫌いかは自分が決める。良いか悪いかは社会が決める。正しいか正しくないかは歴史が決める」

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆　お　知　ら　せ　◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

★　永井敦子先生がご結婚されて、「大倉敦子」先生になられました。おめでとうございます。

★　９月１日から、調理員として新たに藤戸愛子さんが来られました。よろしくお願いします。